



▲船橋クリーンチャレンジ

▲ゆるっと起業カフェ



▲住まいと福祉の相談室

▲船橋のお魚コノシロを盛り上げ隊！
詳しい内容はこちらから▶QRコード船橋チェンジチャレンジ!
◆今年6月の船橋市長選挙に挑戦する旨の出馬会見をした『つまがり俊明』さんとともに、女性起業座談会&スタートアップ・インパウンド座談会

「なでしこサロン」でも「ハッピーチャレンジ！」

なでしこサロン



1階 セレクトショップ (BOX貸し)

2階 レンタルスペース

使い方は、あなた次第！夢に向かって一步が踏み出せる。そんな場所になるはずです。

なでしこサロンは、人生のいろいろなステージで頑張る女性を応援する、自由な多目的サロンです。



営業時間／13:00～18:00

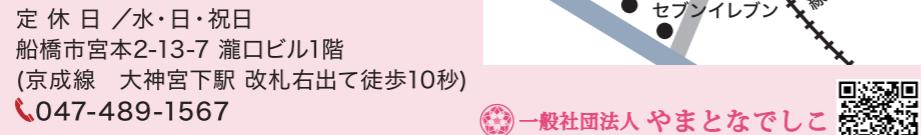
定休日／水・日・祝日

船橋市宮本2-13-7 潟口ビル1階
(京成線 大神宮下駅 改札右出て徒歩10秒)

TEL 047-489-1567



一般社団法人 やまとなでしこ



発行者／中谷あやの 船橋市宮本2-13-7 潟口ビル4階

<https://nakataniayano.com/>TEL 047-411-7606 E-mail info@nakataniayano.com※この報告書はチラシではありません。中谷あやのの公約に基づく
公式の船橋市議会報告書です。

＼ 中谷あやの活動は各種SNSで発信中！／



中谷あやの

なたに

なでしこ通信 市政レポート

女性・経営者・行政書士

3つの視点で船橋市政にチャレンジ！

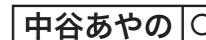


船橋市からのお知らせ あなたの声を船橋市に届けてみませんか？

市政に関するインターネットアンケートへ回答するeモニターを募集中！

<https://nakataniayano.com/>

中谷あやの



ホームページ



Instagram

目次

- P1…【トピック】船橋市の制度が変わった！20代女性の勇気ある声
- P2…一般質問【政策実現】女性起業支援の実施
- 一般質問【政策実現】骨粗しょう症検診の実施
- P3…一般質問【政策実現】結婚新生活支援の拡大
- 一般質問【提案・要望】海老川上流地区土地区画整理事業・医療センター建替えについて
- 一般質問【提案・要望】その他提案・要望していること
- P4…【船橋ハッピーチャレンジ】活動の一部紹介



船橋市の制度が変わった！20代女性の勇気ある声

行政に理不尽を感じても「自分ひとりでは変えられない」と諦めてしまうことはありませんか？しかし、声を上げることで制度が変わることもあります。

2024年4月にはじまった船橋市の「結婚新生活支援事業」は、夫婦ともに29歳以下の新婚世帯に住宅購入・賃貸の助成を行う制度です。

他市では39歳以下が対象で、事前届出なしで申請できるのに対し、船橋市は29歳以下かつ事前届出を要件としていました。

2024年6月、20代の女性から「住宅購入前に事前届出をしていなかったため申請を断られた」との相談が寄せられました。他市では必要な届出が船橋市で求められていることに驚き、調査を進めたところ、同様の理由で助成を受けられない方が複数いることが判明しました。

本制度は、新婚世帯の住まいを支援し、結婚や子育てを後押しする目的で設けられたものです。幸せな新生活のはずが、不必要的要件のために悲しい思いをするのは本末転倒です。この問題を解決するため、会派の先輩議員や職員と協力し、事前届出の要件を撤廃。9月1日から手続きが簡略化され、契約後でも助成金を申請できるようになりました。



その後、ご相談をいただいたご夫婦が事務所を訪れ、「あきらめなくてよかった。相談してよかったです」と感謝の言葉をいただきました。船橋市での子育てに不安を感じていたが、今回の経験を通じて行政や政治に関心を持ち、関わっていくことの大切さを実感されたそうです。

この経験は、私にとっても大きな喜びでした。市民の声を行政に届け、制度を改善することが議員の役割です。今後も市民の皆様の声を大切にし、より良い市政を実現していきます。お困りごとがありましたら、ぜひご相談ください！

★こちらの結婚新生活支援事業は、2025年4月1日から対象者が拡大されました。詳しくは中面へ。





一般質問 Pick UP!

一般質問とは？

市の取組みや課題について、議員から市に説明を求める、政策提案を行う場です。

船橋市議会 それぞれの録画と詳細は[こちらから](#)




令和6年 第3回定例会 9月18日 中谷あやの一般質問
 令和6年 第4回定例会 11月29日 中谷あやの一般質問
 令和7年 第1回定例会 2月27日 質疑

【船橋市に働きかけ実現されたこと】

政策実現！○女性起業支援の実施

R5年6月・R6年2月・R6年9月に質問



本市には女性に特化した創業支援がなく、近隣では市川市や流山市が女性向け支援を行っています。女性は育児や家事、介護などの負担が大きく、フルタイムで働けない場合が多いため、柔軟に働ける働き方のひとつの選択肢として、起業を目指す女性が増えていきます。私は12年間、女性の起業を支援してきましたが、女性には経営ノウハウだけでなく、安心して悩みを話せる環境が必要です。本市も女性起業支援の取り組みが必要と考えます。

政府の方針や本市の男女共同参画計画にも女性起業支援が明記されていますが、現在、本市の女性起業支援の予算はゼロ円です。今後の女性起業支援について市長のお考えをお伺いします。



女性の起業については、女性の置かれている状況で、いろんな課題や不安を感じることを多くあると認識している。女性の起業支援は女性が活躍する社会を作るために重要であり、今後具体的に行政が寄り添えるように取り組んでいく。

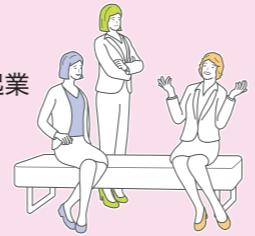
実現しました！



【女性起業支援が実現しました！】 R7年2月

一般質問を重ねた結果、市長から女性起業支援について前向きなご答弁をいただき、令和7年3月に女性起業交流会が実施されました。

そして4月からは、参加者を女性に限定した「女性のための起業セミナー・交流会」が開催されます。最近では50才・60才以降も働きづけたいので、自分で仕事をしてみたいと起業を目指す女性からのご相談が多いです。起業に興味がある方、起業したい方、起業している方、ぜひご参加ください。



政策実現！○骨粗しょう症検診の実施

R6年9月に質問



骨粗しょう症は特に女性に多く、閉経後はエストロゲンの減少により骨密度が低下し、骨折リスクが高まります。予防のためには、症状がなくても骨密度検査を受けることが重要です。



船橋市では令和3年度まで骨密度測定を実施していましたが、利用者減少などを理由に事業を終了し、現在は健康講座を通じた知識普及に取り組んでいます。しかし、近隣自治体では40~75歳の女性を対象とした検査助成や無料測定会を行っており、本市でも必要な取り組みだと考えます。

船橋市にお住まいの女性の健康を守るためにも、国の補助制度を使って、骨粗しょう症検査助成など、骨密度検査を実施していただくことはできないか伺います。



船橋市では現在、骨粗しょう症検診を実施していませんが、国の「健康日本21」第三次計画で受診率目標が明記されました。令和7年度からの「ふなばし健やかプラン21」において、骨粗しょう症対策を検討していきます。

実現しました！

【骨粗しょう症検診が実現しました！】 R7年2月

令和7年4月から、早期に骨量減少者を発見・予防するため、健康増進法に基づく健康増進事業として骨粗しょう症検診がスタートします。

対象は40歳から70歳までの5歳刻みの女性で、年間3,000人の受診を想定しています。

検査方法と自己負担額は、DEXA法(腰椎)が1,000円、MD法・SEXA法等が500円です。

これらの検査を受けることで、骨折リスクを早期に発見し、生活習慣の改善や治療による予防が可能になります。

骨を強く保つことは、健康寿命を延ばすために重要な役割を果たしますので、対象者の方は、骨粗しょう症検診のお知らせが届きましたら検診を受けていただければと思います。

実現しました！

政策拡大！○結婚新生活支援の拡大を求めました

R6年2月・R7年2月に質問



結婚新生活支援事業は2016年から始まりましたが、船橋市は参加していませんでした。内閣府の要件は39歳以下ですが、船橋市では29歳以下と厳しくなっています。少子化対策として、30代での結婚や出産が増えている中、なぜ29歳までに制限したのか疑問です。今後、年齢制限の見直し、改善を求めます。



実施後、実績を検証し、事業改善の必要性を検討します。



転居時期の要件について、市川市は、結婚準備段階で同居を始めたカップルにも補助をする新たな制度を導入し、4月1日から開始予定です。引っ越しが多い3月入居のカップルも対象とし、柔軟に対応するとしています。本市でも、2月・3月入居のカップルを補助対象とするなど、より柔軟な運用が可能か伺います。



令和7年度からは、結婚と転居の時期が異なるケースに対応し、当該年度以前に転居したカップルに対して、家賃補助を行い、住居確保の初期費用を支援します。これにより、若者世帯の結婚新生活支援がより幅広く行えるようになります。

【結婚新生活支援事業が拡大しました！】 R7年2月



若年世帯が婚姻に伴う住居確保に係る費用の一部を助成するため、令和6年4月に対象年齢29歳以下ではじまった事業ですが、令和7年度から対象年齢、助成上限額等が以下のとおり拡大します。

- ・対象年齢：助成上限額30万円の対象年齢を、29歳以下から39歳以下に拡大
- ・助成上限額：双方の年齢が29歳以下の場合に、助成上限額を30万円から60万円に拡大
- ・助成対象者：パートナーシップ宣誓した人を新たに助成対象者に追加

令和6年度は、結婚新生活支援事業として、当初164件の助成件数を予定していましたが、現在の助成件数は21件、予算額に対する助成金額の割合は10.7%（令和7年2月28日時点）で、この制度を知ることができず、申請できなかた方も多いかと思います。まわりで結婚した方がいたら、助成金があるよとお伝えください。

また、令和7年1月1日以降に婚姻届を提出した方は、令和7年4月1日より前に、住宅を買ったり、引っ越しした場合も対象となりますので、船橋市住宅政策課（047-436-2712）にお問合せください。

【船橋市に提案・要望したこと】

海老川上流地区土地区画整理事業・医療センター建替えについて

R6年11月に質問



現在1号調整池の工事が止まっています。1号調整池に関する助成金申請が2年を経て、ようやく全体の雨水排水計画が提示され協議中のことですが、雨水排水計画は最初から出されるべきです。また、念田川があふれた場合、1号調整池に流れ込む可能性が指摘されており、追加工事や対策が求められています。今後の対応について伺います。



1号調整池の貯留量算出時に念田川の水は考慮しておらず、あふれた水が流入する可能性があることは認識しております。現在、対策について組合と協議中です



医療センターの建設については、浸水や災害時のアクセス問題が懸念されています。災害時には徒歩で病院に来る人が多いため、安全な場所に災害拠点病院を建設することが必要です。現在、入札辞退による工事開始の見通しは立っていないませんが、改めて浸水被害や液状化などの心配がない安全な場所に医療センターを建てるよう、移転先について再検討を要望します。



どの方向からでも徒歩でアクセスできるような立地であることにこしたことではありませんが、様々な検討を重ねた結果、決定した場所であり、必要な対策を講じ、災害時のアクセス経路も想定していることから、医療センター移転先について再検討する考えはございません。



私の一般質問が読売新聞（令和7年1月29日）に掲載されました。

その他
市に提案・要望
していること

- 産後ケア事業
- スタートアップ支援・インバウンド支援
- 広報PR・デザイン力・職員の適材適所
- 高齢者等サポート事業・緊急通報装置の貸与・孤独死ゼロ

- 職員の育児時間・部分休業
- 災害発生時の自宅での備え
- 居住支援法人・見守り・空き家問題
- 金属スクラップヤード等対策